

①受付日：令和2年7月17日（金）

受付・報告者：園長

申出方法：手紙

内容：働き方について

7月食育担当である栄養士の母から、家で考え込むことが増え、超過勤務も重なり体調を崩しかけているわが子を心配して、働き方改善及び食育のあり方について見直しを求める内容の電話・手紙での意見・苦情があった。

「栄養士」「保育教諭」それぞれ専門を高めるためには、「調理師」を雇入れ、職員担当の業務など役割分担し、超過勤務を減らすように進めてほしいとの要望でした。

対応：電話・手紙を受け取った後、栄養士の健康状態及び、当人の意見を伺いました。

コロナ禍での食育の進め方や準備物が苦手ととても悩んでいたことを打ち明けてくれました。栄養士・主幹保育教諭・園長で意見交換をし、無理な食育ではなく、日頃から生活全体を考える中で、改めて「食を楽しむ」を第一に考えていくことにしました。

職員会議で議題にあげ、職員みんなの意見が出し合える環境を整える共に、専門職がいて協力し合える環境づくりの大切さを伝えました。

②受付日：令和3年2月中旬

受付者：交通整理員

報告者：園職員

申出方法：口頭

内容：園の駐車場内での保護者・園児について

園の駐車場内で、保護者同士が話し込み、園児から目を離しているときに、レンガに登ったり、駐車場内を走り回っていて危険だと、交通整理員へのご指摘があった。

対応：おたよりで、駐車場内や周辺道路では園児から絶対に目を離さず、レンガに登ったり駐車場内を走り回ることは大変危険であることをお伝えした。